伊賀の水月（1958）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 99分
初公開日 1958/11/15

【解説】
日本三大仇討ちの一つとして有名な「鍵屋の辻の決闘」を、長谷川一夫主演で映画化した大映の本格的時代劇。「日蓮と蒙古大襲来」の渡辺邦男が脚本・監督を務め、市川雷蔵と林成年が共演を果たした。
江戸に柳生流の道場を構える荒木又右衛門は、旗本六方組に囲まれた池田藩士・渡辺靭負の娘みねを救い、彼女と結ばれた。みねに想いを寄せていた河合又五郎は、喪失感から酒を浴びるように飲み、金に困り果てたあげく靭負を殺害してしまう。又五郎は六方組の首領である阿部の屋敷に逃げ込み、池田藩と旗本の対立にまで発展。又右衛門は靭負の息子の数馬を鍛え、義父の仇討ちに立ち上がるのだった。

【クレジット】
監督 渡辺邦男
製作 酒井箴
企画 税田武生
脚本 渡辺邦男
撮影 渡辺孝
美術 上里義三
音楽 山田栄一
出演 長谷川一夫
市川雷蔵
林成年
島田竜三
鶴見丈二
黒川弥太郎
阿井美千子
近藤美恵子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.